

## (10) 宮崎県都城市 資料

## 本庁及び各地区に管理栄養士が配置され、かつ統括者がいる事例

### I 自治体の概要

自治体名	人口	面積	年齢3区分別構成割合			合併
			年少人口	生産年齢	老年人口	
都城市	174,599人	653.8km <sup>2</sup>	14.6%	61.3%	24.1%	有

(合併日：平成18年1月1日、データ：平成18年1月1日現在)

### II 自治体の組織

都城市行政組織機構図は、別紙参照

#### 1) 管理栄養士・栄養士が配置されている部署と年齢

健康福祉部（本庁）

- └ ①健康長寿課…地域支援担当（管理栄養士1名54歳）
- └ ②こども課…母子保健担当、保育所給食担当（管理栄養士1名49歳）
  - ③└金田保育所…給食担当（栄養士1名48歳）
  - ④└たかお保育所…給食担当（栄養士1名50歳）
  - ⑤└郡元保育所…給食担当（栄養士1名52歳）
  - ⑥└大王保育所…給食担当（栄養士1名38歳）

高城総合支所

- └ ⑦健康福祉課…（管理栄養士1名47歳）※保健センター配置
- └ ⑧養護老人ホーム…（管理栄養士1名36歳）

山田総合支所

- └ ⑨健康福祉課…（管理栄養士1名33歳）
- └ ⑩養護老人ホーム…（管理栄養士1名27歳）

高崎総合支所

- └ ⑪健康福祉課…（管理栄養士1名34歳）
- └ ⑫養護老人ホーム…（管理栄養士1名48歳）

山之口総合支所

- └ ⑬健康福祉課…（管理栄養士1名30歳）
- └ ⑭養護老人ホーム…（管理栄養士1名47歳）

#### 2) 組織を超えて管理栄養士・栄養士全体を統括する管理栄養士・栄養士（上記中の番号）

- (1) 本庁①→総合支所（⑦～⑭）の連絡調整（成人保健事業、地域支援事業、高齢者福祉事業）
- (2) 本庁②→総合支所（③～⑦、⑨、⑪、⑬）の連絡調整（保育所給食、母子保健事業、）

### Ⅲ 保健活動の概要

#### 1) 基本健康診査関係

- ・ 基本健康診査受診率（H17年度） 本庁 47.2%、旧4町 60.9%
- ・ 基本健康診査事後指導実施率  
（H17年度） 本庁 45.1%、旧4町 4.1%

（本庁は個別健診方式、旧4町は集団健診方式、健診会場で経年の健診結果の数値等を元に、要指導者へ個別指導を実施しているが、事後指導実施率には、それは含まれていない）

#### 2) 母子保健事業関係

- ・ 1歳6か月児健診受診率…平成17年度本庁 78.7% 旧4町 82.5%
- ・ 3歳児健診受診率 …平成17年度本庁 76.4% 旧4町 84.3%
- ・ 1歳6か月健診におけるう歯の罹患状況…平成17年度虫歯保有率 本庁 5.6%  
旧4町 2.9%、1人あたりう歯数 本庁 0.17本、旧4町 0.09本
- ・ 3歳6か月健診におけるう歯の罹患状況…平成17年度虫歯保有率 本庁 47.3%  
旧4町 34.9%、1人あたりう歯数 本庁 2.09本、旧4町 1.39本

#### 3) 地区組織活動の特徴

##### (1) 食生活改善推進員

「自分の健康は自分の手で」はもとより、「自分の地区の健康は、自分達の手で」をモットーに生活習慣病予防食の講習会や母と子の食生活共同体験教室など、地区の小学校や校区ごとに料理講習会を開催している。本庁において食生活改善推進員は、自治公民館長から推薦される。任期2年。

また、1歳6ヶ月児健診や3歳児健診において、手作りおやつ配布も行っている。会の運営は、都城市と委託契約を結び、委託料によって事業を推進している。

都城市食生活改善推進員設置要綱 昭和61年10月1日  
合併により、平成18年1月1日 設置

都城市食生活改善推進員連絡協議会会則 昭和63年4月1日施行

県知事表彰 地域における公衆衛生の向上 平成3年10月4日

地域における公衆衛生の向上 旧高城町 平成6年11月30日

厚生大臣表彰 地域社会の組織活動によって栄養及び食生活の改善を行い地域社会の明るい健康的な生活習慣の実現 平成7年11月2日

常に行政との連携を保ちつつ、食生活面での健康づくりについて地域住民にあらゆる機会を捉えて積極的な活動を展開している

旧高城町 平成16年10月15日

① 組織の現状（平成 18 年 10 月 1 日現在）

都城市食生活改善推進員連絡協議会

└ 推進員数 264 名

（全人口千人対 1.52 人、65 歳以上人口千人対 6.18 人）

└ 地区組織数 15 地区

└ 養成の形態 本庁管内（旧市）…自治公民館単位の推薦

総合支所管内（旧 4 町）…公募

② 活動の内容

委託事業

└ 地区講習会活動（対象：一般、高齢者）

└ 日本食生活協会委託事業（対象：スポーツ少年団、男性、親子、介護者等）

└ 母と子の食生活共同体験事業（対象：小学生とその保護者、乳幼児）

自主事業

└ 地域交流活動（例：地区文化祭参加、ひとり暮らし高齢者食事会）

└ 全体研修会（活動発表、情報交換）

(2) 健康づくり支援者（旧都城市）

平成 14 年度に策定した「みやこのじょう健康づくり計画 2 1」の推進体制整備のために、同年度より、健康づくり支援者を養成。健康づくりを家族や地域で支える仕組みづくりの推進を図るため、平成 18 年度現在、11 地区公民館で計 398 人の支援者が活動している。

(3) 健康推進員（旧高城町）

「健康日本 2 1 地方計画」の推進のため自治公民館長により推薦。（行政が健康情報・環境問題を提供し自ら実践してもらい、地域へ普及してもらう担い手）

平成 10 年度 1 期生（20 名）立ちあげる 平成 12 年度 2 期生（22 名）

平成 14 年度 3 期生（19 名） 平成 16 年度 4 期生（20 名）計 81 名

(4) 健康づくり推進員（旧高崎町）

「健康たかざき 2 1 計画」策定をきっかけに、子どもから大人まで、一人ひとりの価値観に基づき、住民が主体的に取り組む健康づくりと同時に、個人をとりまく家族や地域社会が支援していく環境整備を推進するために、健康づくり推進員を設置している。

・自治公民館組織ごとに各 1 名 計 43 名

(5) 健康づくり推進員（旧山田町）

山田町健康づくり計画「元気なやまだ 2 1」の策定と推進にあたり、町民が主体的に取り組める計画を目指すため、町民と行政のパイプ役になり、地域の健康づくりのリーダーを担う健康づくり推進員を各地区に設置している。

・自治公民館組織ごとに、自治公民館長が 1 名を推薦 計 3 5 名

(6) 健康づくり推進員 (旧山之口町)

「はつらつ山之口21計画」を地域ぐるみで推進するため、健康づくり推進員協議会を設置。健康に関する知識を身につけ、学んだことを「家族」「友人」「近所」の方々など、一人でも多くの人に伝えていく「健康知識」として推進員を公募。平成17年度16名で発足し、現在は地域の健康づくりを支えるため、自分達にできることを定期的に話し合い、笑顔あふれる企画を計画し、活動している。

4) 市町村健康増進計画の策定経過

- (1) 「みやこのじょう健康づくり計画21」～こどもから高齢者までの健康づくり10年プラン（「健康日本21」と「健やか親子21」の地方計画として、また、「第4次都城市総合計画」における「すこやかに育ちはつらつと生きるまち」づくりを推進し、「人が元気都市」を実現するための行動計画。）

先進地視察…熊本県蘇陽町、佐賀県東与賀町

- ① アンケート調査 市民の健康状態や生活習慣行動を把握するため、妊婦300名（回収率64%）、乳幼児を持つ保護者799名（回収率59.4%）、小学生321名（99.4%）、中学3年生314名（回収率95.5%）、高校3年生320名（回収率98.4%）、20～79歳1,500名（回収率58.7%）に調査表を配布し、調査実施。また、職場の健康診断の実施状況等を把握するため、市内239の事業所に調査表を送付し、70.7%から回答を得た。
- ② アンケート集計と分析…市担当課補佐・保健師・管理栄養士・事務職員と委託会社現状と課題の抽出、先進地視察、アンケートの内容チェック、分析まですべて管理栄養士が関わった。

- (2) 「健康たかざき21計画」(旧高崎町)

～世代を超えて ふれあい(愛) 支えあい 心が元気 たかざき～

『みどり 健康 たかざき』をテーマとした町の基本理念に基づき、旧高崎町に住むすべての方々がすこやかに心豊かに生き生きと暮らすことができる事を目標に、「健康日本21」と「すこやか親子21」の運動を踏まえて、個人や家族、地域そして行政が協働し、みんなで一緒に取り組んでいくための計画です。）

- ① 先進地視察…佐賀県東与賀町、宮崎市、えびの市
- ② フォーカスグループインタビューの実施（町民のみなさんの思いを聞く）  
町内各種グループや団体42グループ 総数296名の方にインタビューを実施
- ③ アンケート調査の実施  
MIDORIモデルに基づき、住民のQOLを導き、アンケートを作成する。
  - ・乳幼児をもつ全世帯の保護者 341世帯…回収率91.2%
  - ・小・中学生437名とその保護者 437名…回収率94.9%
  - ・20歳代～70歳代男女各100名 1200名…回収率89.8%
- ④ アンケート集計と分析 保健師・栄養士で実施（アンケート入力のみ外部委託）
- ⑤ 作業部会の開催（メンバー…町民グループ44名、関係各課職員24名）

聞き取りやアンケートによってみえてきた町民の皆さんの「思い」「願い」「幸せ感」「健康感」「健康課題」などをもとに、意見を出し合ってもらい、高崎町民のありたい姿について話し合いを持つ。

⑥ 策定委員会（健康づくり推進会）の開催

（メンバー…関係機関・各種団体の代表者12名）

計画の最終的な審議と具体的な推進方法などの検討

以上の計画策定に関し、保健師とともに管理栄養士が計画推進に関わった。

- (3) 「広げよう健康の輪 高城21」(旧高城町)平成15年～平成24年までの10年計画子どもからお年寄りまで高城町民全員が“健康で輝きながら安心して暮らす”ことができるよう町民のひとりひとりに向けた計画です。平成9年より座談会やアンケート調査を通じて地域の実情を調査し、町民が望む質の高い生活を実現するため、町民の主体的な健康づくりやその支援への取り組みができるよう行政と町民そして機関関係が一緒になって策定した健康づくり計画で、「第4次高城町総合長期計画」として位置づける。

① 先進地視察…熊本県蘇陽町

② 座談会開催22回（平成8年～9年）

③ アンケート調査（人口の約1割）

乳幼児を持つ保護者471名、小・中学生296名、成人1,272名（平均回収率96.5%）

④ 講演会・シンポジウム開催（5回）

現状と課題の抽出、先進地視察、アンケートのまとめ、分析に管理栄養士も関わった。

- (4) 「はつらつ山之口21計画」すべての町民が自らの力で健康はつくるを基本に社会の支援によって『自然と笑顔のあふれるまち』の実現に向け、行動計画が示されている

① 計画策定に関わる調査

○ヘルスアセスメント（平成13年9月）

上富吉地区一般成人（20～64歳）1,352人 回収率87.1%

○健康づくりアンケート調査（平成15年3月）ランダムサンプリング抽出

乳幼児（6歳未満の子どもがいる世帯）124人 回収率96.1%

小学生（5、6年生）145人 回収率100%

中学生（2、3年生）160人 回収率100%

一般成人（20歳～85歳まで）529人 回収率91.2%

各世代ごとインタビュー調査（訪問、職場訪問、高齢者など）

② 健康づくりアンケート調査の作成、集計、解析

世代ごとインタビューなどをもとにQOLを重視したアンケート調査の作成、集計、解析全てに関わり、各種統計などを収集・分析し、行動計画のための数値目標を練り上げた。

③ 庁舎内ワーキング、各種団体との連携

①～③まですべてに管理栄養士が関わった。

(5) 「元氣なやまだ21計画」(旧山田町)

～みんなでつくろう元氣な輪 笑顔あふれるかかしの里

(町民が主体的に健康づくりを進めていくことを目指し、「自分の健康は自分でつくる」ことを基本に、町民一人ひとりの力に併せて、町全体で)個人の主体的な健康づくりを支援していくための計画、町の基本計画「第3次山田町総合計画」に盛り込まれた事項と整合性を図りながら推進していく。)

① アンケート調査

町民の健康に関する意識や生活習慣病行動等を把握するため、20歳～64歳までの町民の中から無作為に抽出した900名(町民約1割)に健康づくり推進員の協力のもと聞き取りによるアンケート調査を実施。回答率95.1%。

② 座談会

アンケート調査だけでは、町民のニーズを把握するには至らず、また、いかにして町民の参加を得、町民の声を計画に反映させるかを考慮し、健康座談会を開催した。

町内28箇所、計436名参加

以上の計画策定に関し、保健師とともに管理栄養士も計画推進に関わった。

5) 国保1人当たりの医療費

平成17年度 247,455円

6) 自治体の健康課題

- 若年層(14歳～19歳)の妊婦が増加している。また、望まれる妊娠、安全な出産、適切な育児により、子ども達が健やかに成長できるような環境づくりが必要である。
- 乳幼児健診での心理面・母子関係面でのフォロー件数が増加している。
- 1歳6ヶ月児、3歳児健診の虫歯状況をみると、全国平均、県平均を上回っている。特に、3歳児の虫歯保有率、1人あたりう歯数は高く、保護者に口腔衛生に対する認識を高め、食生活を含めた生活習慣の改善を図る必要がある。
- 子ども達の朝食の欠食率や就寝時間の夜型化が進んでいる。
- 育児不安を持つ母親、DV、児童虐待の増加等様々な問題を抱えている世帯が増加している。このような世帯のために育児支援の整備(ネットワーク機能の充実)が必要である。  
(参考資料：保健師活動計画書：母子保健)

高齢化率の上昇に伴い、生活様式の変化とあわせて生活習慣病に起因する認知症や寝たきり等の要介護の割合は、H13年～H18年の5年間で28.6%の増で、基本健康診査結果からは生活習慣病が高率(高脂血症42.2%、高血圧33.4%、糖尿病15.6%)を示し、生活習慣病との関係が深い三大疾患のがん、心疾患、脳血管疾患による死亡は約6割を占め、その内、64歳以下の死亡割合は16.5%を占める。

生活習慣病との関連のある食事、運動、喫煙について朝食欠食者が20～30代の若者

に多く、健康な食生活への関心の低さが伺え、運動習慣者の割合が国民栄養調査結果より下回っており、喫煙及び禁煙への改善意欲のある人の割合も低くなっている。（「みやこのじょう計画21」より）

このような現状を踏まえたうえで、生活習慣病を予防し、健康づくりを推進できるよう努めていく。また、住民の主体的な取り組みを進めるため、家族や地域で支える仕組みづくりが重要で各地区の健康づくり支援者（総合支所は健康づくり推進員）の育成及び活動の推進を図っている。（参考資料：保健師活動計画書：成人保健）

## 7) 健康課題解決のための取り組み体制（特徴的なものを中心に）

**本庁及び各地区に管理栄養士が配置され、かつ統括者が配置されていることにより、地域全体で組織横断的に連携した取組を推進**

### (1) ポピュレーションアプローチ

一般高齢者に対する健康教育（通所型）

…健康長寿課地域支援担当及び総合支所健康福祉課

がん検診、各種健診の受診率の向上を図り、食事・運動・喫煙に関する健康教育、健康相談、訪問指導等の事後指導の強化、及び栄養相談・食生活改善指導に努めている。保健師、管理栄養士、訪問指導員及び食生活改善推進員と連携した取り組み体制をとっている。

健康づくり支援者、健康づくり推進員、食生活改善推進員の地区組織活動を生かし、各研修等を通し、健康への関心、課題をもっていただき、そこから、周囲の地域住民への波及効果につなげていく。

広報誌等行政の機関紙を通し、住民に広く健康に関する情報を提供している。（高崎総合支所）

### (2) ハイリスクアプローチ

特定高齢者に対する低栄養改善（通所型、訪問型）

…健康長寿課地域支援担当及び総合支所健康福祉課

病態別（高脂血症、高血圧、糖尿病）の個別健康教育を実施…健康長寿課成人保健担当

各総合支所健康福祉課での取り組み

健康診査を中心に、健診診査当日に健診結果を基に保健師・管理栄養士による個別健康相談を要指導者に対して、実施。

### (3) 食育関係活動、高齢福祉・児童福祉関係の活動

- 食育関係については、県の担当課が農政関係なので、市も農政課が担当課になり、情報の共有は、こども課・健康長寿課・学校教育課・学校給食センターで行っている。
- こども課は、平成17年4月に新設され、子供に関する福祉、保健、医療、教育な

どの業務が集約され、従来の保健分野と児童福祉関係が一緒になり、各種情報の一元化が図られた。それによって、これまで保健分野での指導が分断化されていたが、こども課の新設により保育所・園でも一元化され、統一した指導が出来るようになった。

- また、同年9月には、「要保護児童等対策地域協議会」を設置し、関係機関とのネットワークを構築している。乳児相談時や健診現場などで、離乳食指導や栄養指導などの食の分野だけでなく、幅広く母子関係を見て指導している。また、小児の発達障害では、健診時に哺乳瓶がはなせない、寝付く時間が遅い、偏食などの食習慣や生活習慣に問題のあるケースもあり、幅広い視野で子供達をみていく必要がある。食育に関しては、保育所・園、小学校、中学校での健康教育や調理実習を行っている。
- 農政関係の女性団体と保育園、農政課、こども課が連携して、食育体験学習を実施。
- 児童福祉関係については、保育所給食の献立システム、保育所での食育指導、スキムミルク関係についても管理栄養士が業務を担っている。

#### 健康長寿課及び総合支所健康福祉課

##### ト 食の自立支援事業（配食サービス）

（対象：調理困難なひとり暮らし高齢者、高齢者のみ世帯）

##### ト 高齢者虐待相談及び対処

##### ト 養護老人ホーム入所相談及び措置

##### ト 健康講座講師派遣

#### 高城総合支所健康福祉課（高城保健センター）での取り組み

- ① もくせい会（糖尿病予防教室）…糖尿病及合併症予防として年11回開催  
内容：健康相談・血圧測定・尿検査  
運動療法（アクアビクス、グランドゴルフ、ダンベル、ウォーキング、ヨガ、ながら運動等）  
食事療法（講話、調理実習）  
その他…講演会、グループワーク、綾町糖尿病友の会との交流会）
- ② 高齢福祉との連携…高齢者の健康づくり、介護予防の目的で、地域の民生委員、高齢者クラブ会長、食生活改善推進員との連携して、健康講話、血圧測定、個別相談、健康体操、食生活改善推進員改善講習会等をメニューにした健康教育事業を実施。
- ③ 介護者学級（介護している方）では、食生活改善推進員と連携をとり介護食の試食会をしている。

#### 高崎総合支所健康福祉課での取り組み…高齢福祉との連携

高齢者の健康づくり、介護予防の目的で、地域の民生委員、高齢者クラブ会長、食生活改善推進員と連携して、健康講話、血圧測定、個別相談、健康体操、食生活改善講習会等をメニューにした健康教育事業を実施。

#### (4) 管理栄養士・栄養士の連携状況

- 本庁こども課、健康長寿課に管理栄養士がそれぞれ配置されているため、総合支所の管理栄養士と連携し、1歳6ヶ月健診・3歳児健診時の集団指導において、2人でエプロンシアターや個別栄養指導を行っている。また、離乳食教室においても、総合支所管内である場合には、総合支所間2人体制で業務遂行している。また、食育で健康教育が重なる場合には、交替で対応している。

##### (統括する管理栄養士・栄養士の役割)

- こども課母子保健担当管理栄養士については、本庁こども課母子保健担当保健師の業務調整・連絡、決裁。また、総合支所の母子保健関係保健師・栄養士との業務調整・連絡。公立保育所給食担当者（栄養士・調理師）との業務調整・連絡。
- 健康長寿課では栄養関係業務において、地域支援担当管理栄養士が、本庁内では課内成人保健担当、こども課母子保健担当と組織横断的に連携し、また本庁が総合支所との連絡調整を担うことから、総合支所の成老人保健関係管理栄養士・訪問指導管理栄養士・在宅管理栄養士との業務連絡・調整を行っている。また、食生活改善推進員連絡協議会との委託業務調整・組織調整、食の自立支援事業（配食サービス）、家族介護者交流事業等の業務を担当している。

#### (5) 他職種との連携状況

- 母子保健業務…乳児相談・1歳6ヶ月児健診・3歳児健診、訪問等においては保健師との連携。
- 食育推進事業…保育所・園、幼稚園の所長、給食担当者。小学校・中学校の養護教諭。農政課の職員、「21世紀を担う農村女性の集い」会員。学校教育課教育主事、食生活改善推進員。
- 高齢者食生活改善事業…食生活改善推進員研修・食生活改善推進員養成研修会においては保健師との連携。地域での講習会活動においては食生活改善推進員との連携。
- 食の自立支援事業…本庁地域支援担当職員、総合支所担当職員、地域包括支援センター介護支援専門員・保健師・社会福祉士、民生児童委員、配食サービス委託事業所職員との連携。
- 家族介護者交流事業…総合支所担当職員、包括支援センター介護支援専門員・保健師・社会福祉士、民生児童委員、健康増進施設健康運動指導士との連携。

## IV 人材育成体制

### 1) 管理栄養士・栄養士の人材育成体制の状況

- 保健所による、管内研修会や栄養士会などでの研修会
- 県の研修会や国保連合会主催の研修会

